

ビジネスモデル

アンリツは、最先端の技術や商品・サービスの開発をビジネスの根幹としており、時代に即した変化をいち早く取り入れる企業体質を持ち続けています。今後も、グローバル社会の持続可能な未来づくりに貢献するために、従来の「はかる」を超えた価値や新領域を開拓していきます。

通信計測事業



通信計測カンパニー

現在の通信計測ビジネスは、スマートフォンに代表されるモバイル通信システムの携帯端末や同端末に組み込まれている通信用モデムチップセットの開発、および携帯端末の製造を主なビジネス市場とするモバイル市場セグメント、データセンターに設置されるサーバーやルータ等の通信機器の光通信部分に使われる光デバイスの開発や製造向けの光・デジタル用測定器が大きな割合を占めるネットワーク・インフラ市場セグメント、通信用部品や大学・研究機関向けの汎用通信測定器を扱うエレクトロニクス市場セグメントの3つの市場セグメントで構成されています。

この通信計測ビジネスのうち約6割を占めるモバイル市場セグメントでは、第3世代移動通信システム(3G)以降、通信システムの仕様が適宜アップデートされる仕組みとなったため、それまでの売り切りでの測定器の提供から、測定器をソ

フトウェアで随時アップデートする、リカーリングビジネス形態での提供にいち早く切り替えました。特にさまざまな機能を提供する仕組みである、「通信プロトコル」の仕様変更に対して、変更される仕様のキャッチアップからソフトウェアのアップデートまでを短期間でタイムリーに対応できるようにしました。

この3Gにおけるプロトコル技術の獲得と、その後の4G、5Gへの進化に伴う対応技術の向上が、5Gスマホ開発市場における技術的優位を作り、競合に対する参入障壁となっています。現在、このモバイルの通信プロトコルを短期間でキャッチアップできる企業は、当社のほかは、アメリカのキーサイト・テクノロジー (Keysight Technologies) 社とドイツのローデ・シュワルツ (Rohde & Schwarz) 社の2社程度に絞られていると考えています。

PQA事業



インフィビスカンパニー

現在のPQAビジネスは、主として、食品市場と医薬品市場の2つの市場セグメントを対象としています。両市場に提供される製品の基本的な測定技術は共通で、次の3種類になります。高速で動く物体の質量を測定する技術を用いた計量機、磁界変動から金属を検出する技術を用いた金属検出機、X線透過光により内部構造を可視化するX線検査機。これらに長年培ってきた信号処理やノイズ除去の技術、さらに最新のAI技術を組み合わせることで、より精度の高いセンサーや画像解析を実現し、微細な金属異物の検出や食肉中の骨のような金属以外の物質の検出により、お客さまの製造する食品や医薬品の品質向上に貢献してきました。

さらに最近では、欠品検査やかみこみ検査など、これまで人の目で行ってきた検査を機器が代行することで、人手不足を補う形での貢献も増えてきています。

このような検査機器を扱う競合会社は国内・海外ともに多数存在していますが、国内市場については当社と日本のインダ社で市場の大半を占めています。また、海外市場においては、スイスのメトラー・トレド (METTLER TOLEDO) 社と当社とインダ社でシェアを競い合っている状況です。

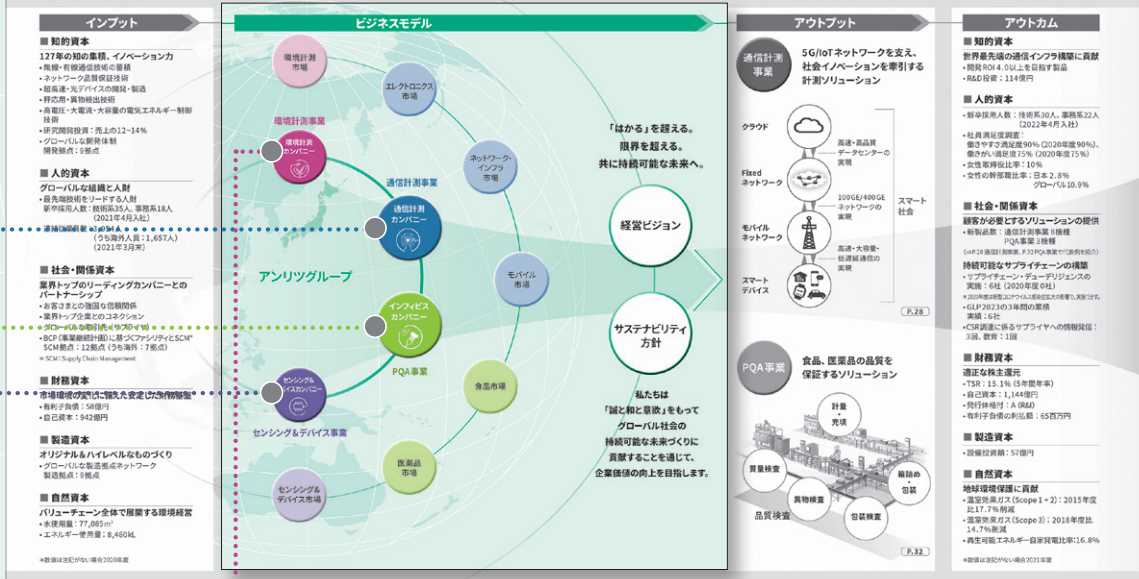
アンリツ価値創造モデル

アンリツの企業価値の源泉は、アンリツらしさの「信頼性、適応力、先進性」の根源でもある、有形、無形の各資本です。

アンリツは、持てる資本を最大限に活用して、社会課題の解決に貢献する企業活動を実現してまいります。

アンリツへの期待	<ul style="list-style-type: none"> ① 通信計測事業 5G/6Gの進化で社会インベーションを牽引するモバイルプロトタイプサービスの進化で快適なコミュニケーションを実現する ② PQA事業 食品や医薬品に対する安全・安心の要求に応える品質保証を実現する
-----------------	--

<ul style="list-style-type: none"> ③ 通信計測事業 安全・安心なインフラを構築し、持続可能な社会の建設につながる産業の創成とインベーションの促進に貢献する ③ ④ PQA事業 安全・安心なインフラを構築し、持続可能な社会の建設につながる産業の創成とインベーションの促進に貢献する ④ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 通信計測事業 安全・安心なインフラを構築し、持続可能な社会の建設につながる産業の創成とインベーションの促進に貢献する ⑤ ⑥ PQA事業 安全・安心なインフラを構築し、持続可能な社会の建設につながる産業の創成とインベーションの促進に貢献する ⑥
---	---



環境計測事業



環境計測カンパニー

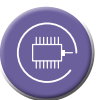
2030年度の2,000億円企業達成に向けた新たなビジネス基盤として2020年度に立ち上げた環境計測ビジネスは、これまでに培った映像情報処理技術や高度な通信技術を用いて、道路、河川、ダムといった社会インフラの遠隔監視をサポートするソリューションを提供しています。

また、最新の5G技術を用いた通信インフラであり、通信オペレータに依存しない通信網が構築可能なローカル5Gの

導入に関してもサポートしています。

加えて、幅広い環境計測市場の中でも今後の成長が期待できるEV・電池測定の市場に関して、2022年1月に、国内でも屈指の高精度・高安定・高効率電源技術、バッテリー評価技術および電力回生技術を持つ高砂製作所を連結子会社としたことで、市場開拓を加速していきます。

センシング&デバイス事業



センシング&デバイスカンパニー

アンリツのコアコンピタンスを担うデバイス部門として、自社の通信計測機器向けにキーデバイスを提供することを主なビジネスとしていた部門を、2020年度にセンシング&デバイスに名称変更しました。近年は、当社の持つ半導体技術を応用して、光通信用の半導体レーザーや光増幅デバイスを外販しています。

2030年度の2,000億円企業達成に向け、これまで長年培ってきた半導体レーザー向けの結晶成長技術や、高コヒーレンスな波長掃引技術と信頼性の高いSLD (Super Luminescent Diode) 光源などを活用し、センシング市場に向けたソリューションを充実させていきます。